

参考資料

(本リリースは、米国時間 2022 年 3 月 21 日に発表済みのアフラック・インコーポレーテッドによる英文プレスリリースの参考和訳です。解釈に相違が生じた際には、英語版を基準とします。)

2022 年 3 月 25 日

アフラック・インコーポレーテッド 「アフラックウェイ：パーパス（企業の存在意義）と プロフィット（経済的利益）の両立を図りつつ変化を生み出す」と題する 「2021 年度ビジネス&サステナビリティレポート」を発行

ジョージア州コロンバス - 2022 年 3 月 21 日

アフラック・インコーポレーテッドは本日、「The Aflac Way（アフラックウェイ）：パーパス（企業の存在意義）とプロフィット（経済的利益）の両立を図りつつ変化を生み出す」と題する「2021 年度ビジネス&サステナビリティレポート」（以下、「本レポート」）を公表しました。本レポートは、investors.aflac.com の「[Sustainability（サステナビリティ）](#)」でご覧いただけます。

本レポートは、アフラック・インコーポレーテッドの 2021 年度の環境・社会・ガバナンス (ESG) に係る目標及び実績に関する主な洞察とともに、2021 年度の事業と財務業績を概観するものです。また、本レポートでは、投資及びその保有に関する意思決定に ESG を統合する当社の取組みにも光を当てています。これらの取組みとしては、責任投資原則 (PRI) への署名、カーボンニュートラルとネットゼロに向けての進捗、世代間の階層移動 (エコノミック・モビリティ) や社会的な不平等に対処するための 7 億 2,500 万ドルの追加的な適格投資へのコミットメント、当社初のサステナビリティ・ボンドの発行から 1 年以内に行ったグリーン・アンド・ソーシャル投資への 2 億 5,200 万ドルの配分、日米におけるインクルーシブな文化醸成の継続、アトランタ小児病院のアフラックがん・血液病センターへの 1 億 5,700 万ドルを超える寄付、日本のアフラックペアレンツハウスを利用する延べ 14 万人の小児がんを治療する子どもたちとその家族への支援、がんや最近では鎌状赤血球症の治療を受けている 13,000 人以上の子どもたちに安らぎをもたらすよう 2018 年から続くマイ・スペシャル・アフラック・ダック®の寄贈などが挙げられます。このことは、強力なガバナンスと環境に対してよき奉仕者であることへのコミットメントに対するアフラック・インコーポレーテッドの強い姿勢を浮き彫りにしています。

アフラック・インコーポレーテッドの会長兼 CEO であるダン・エイモスは、本レポートの公開について、次のようにコメントしています。

「アフラックが、正しい行いに邁進しつつ成功を収めているのは決して偶然ではありません。実際、これらは互いに密接に関係していると、私は確信しています。私は、社会的なパーパスと利益の両面で当社が成し遂げてきたこと、すなわち、パーパス（企業の存在意義）とプロフィット（経済的利益）を両立させてきたことを誇りに思っています。本レポートを通して、

アフラックの健全な事業戦略、固有の企業文化、正しい行いの下で事業を展開する当社のコミットメントを目にさせていただくことができると思います。これには、ダイバーシティ、環境、ガバナンス、そしてコミュニティへの当社のコミットメントが含まれており、そのすべてが、パーパスとプロフィットを両立させるという観点で実践されています。」

アフラック・インコーポレーテッドの社長兼 COO であるフレデリック・J・クロフォードは、本レポートについて次のように述べています。

「ESG とは、株主だけでなく、従業員やご契約者、そしてこれらの人々が生活し、働いているコミュニティのために正しい行いをする、ということです。当社は、常にパーパスをもって行動してきましたが、環境面・社会面の目標とともに利益目標を達成するために、今では、ステークホルダーからの支援や効果を測定するためのツールも手にしています。ESG の分野で業界のリーダーとなり、リーダーであり続けるためには、アフラックを含むすべての企業が継続的に適応していく必要があると認識しています。それこそが、まさに当社の行っていることなのです。当社が重視している透明性の精神に基づき、本レポートには投資家の皆様からのご関心とご要望の強い資料が掲載されています。これには、[2020 年の気候関連財務情報開示タスクフォース \(TCFD\) レポート](#)、[アフラック \(米国\) の 2020 EEO-1 ディスクロージャー](#)、及び当社の[カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト\(CDP\)提出資料](#)が含まれています。」

また本レポートは、サステナビリティ会計基準審議会(SASB)、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)、国連の持続可能な開発目標(SDGs)、及びグローバル・レポートング・イニシアティブ(GRI)など、様々な報告の枠組みを統合しています。これらは、本レポートの ESG 報告インデックスで整理されており、容易にご覧いただくことができます。

投資家の皆様には、アフラック・インコーポレーテッド及びその ESG 及び社会的責任に対するコミットメントについては、[investors.aflac.com](#) 中の「Sustainability」を通じて、より詳細にご理解いただくことができます。ここでは、[2020 年の気候関連財務情報開示タスクフォース \(TCFD\) レポート](#)、[アフラック \(米国\) の 2020 EEO-1 ディスクロージャー](#)、及び当社の[カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト\(CDP\)提出資料](#)が掲出されています。

アフラック・インコーポレーテッドについて

アフラック・インコーポレーテッド（ニューヨーク証券取引所のティッカー・シンボル AFL）は、フォーチュン 500 社の 1 社であり、日米の子会社を通じて、5,000 万人以上の方々に保障を提供し、ご契約者の皆さまが病気や怪我をした時に、給付金を現金で迅速にお支払いすることで、両国において補完保険のリーディング・カンパニーとなっています。60 年以上にわたって、アフラック・インコーポレーテッドの子会社の保険商品は、ご契約者の皆さまが経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。米国では、アフラックは任意加入／職域の保険商品 No.1 の会社です。アフラック生命保険株式会社は、日本における医療保険・がん保険の最大手で、約 4 世帯に 1 世帯がその保険に加入しています。2021 年、アフラック・インコーポレーテッドは、『Ethisphere』誌から 16 年連続で「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出され、『フォーチュン』誌の「世界で最も賞賛すべき企業」のリストに 21 回目の選出を受けるとともに、ダウ・ジョーンズのサステナビリティ・インデックス（北米）に組み入れられました。また、2021 年には、アフラックは責任投資原則（PRI）への署名も行いました。さらに、2022 年、アフラック・インコーポレーテッドはブルームバーク

の男女平等指数に3年連続で組み入れられました。通常健康保険が保障しない出費にどのようにお役立ただいかや当社についての情報は、当社のウェブサイト [Aflac.com](https://www.aflac.com) または [Aflac.com/Espanol](https://www.aflac.com/Espanol) をご覧ください。また、投資家の皆様には、アフラック・インコーポレーテッド及びその ESG 及び社会的責任に対するコミットメントについては、investors.aflac.com 中の「Sustainability」を通じて、より詳細にご理解いただくことができます。

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するように奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書は、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」「見通し」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が随時言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・ 新型コロナウイルスに起因するものも含む世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・ 投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- ・ 重要な金利リスクに対するエクスポージャー
- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・ 円/ドル為替レートの変動
- ・ 運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・ 当社の運用資産に対して計上される予想信用損失の決定における重要な評価判断
- ・ 当社の財務力又は発行体格付けの引き下げ
- ・ 他の金融機関の信用力の低下
- ・ 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・ 新型コロナウイルスの影響及びその変異種（既知のものと新たに発生するもの）及びこれに起因する、当社の事業及び財務業績への経済的な影響ならびに政府による介入
- ・ 優秀な募集人、ブローカー、社員及び販売提携先を引きつけ、維持する能力
- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離

- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 子会社が親会社に配当金を支払う能力
- ・ 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- ・ 第三者の取引業者に係る業務運営リスク
- ・ 当社に適用される税率変更の可能性
- ・ 契約者のプライバシー及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- ・ 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- ・ 競合環境及び市場のトレンドを予測し対応する能力
- ・ 気候変動によりもたらされる事象、伝染病、パンデミック（新型コロナウイルスによるものを含む）、竜巻、ハリケーン、地震、津波、戦争あるいはその他の軍事行動、テロ行為あるいはその他の暴力行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ アフラックブランドと当社の評判を守る能力
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 会計基準の変更
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 米国における労働者の誤分類に関する主張あるいは判決